

令和4年度学校自己評価システムシート (県立草加東高等学校) e22

目指す学校像	希望をもって自己実現に努め、社会に貢献できる生徒を育成する。
--------	--------------------------------

重点目標	1 主体的学習態度を育成し、学力の向上と希望進路の実現を図る。 2 基本的生活習慣を確立し、部活動や学校行事等を通じて自律心と豊かな人間性を養う。 3 開かれた学校づくりを進め、保護者・地域との連携を深める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	3名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標					年 度 評 価 (1 月 2 6 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況 ※ () = 昨年度の数値	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】 ・学力向上のために、朝学習や補習、検定試験奨励などに取り組み、一定の成果を上げている。 ・時季に応じた系統的な進路指導により、適切な進路意識を育成している。 ・分かり易い授業の実施について各教科で取り組んでいる。</p> <p>【課題】 以下の課題に取り組む必要がある。 ・自学自習の習慣を拡充させて、学力向上を図り、第一希望合格に導く。 ・本校の「育成方針」を明確にした上で、進路指導の計画を立て、生徒に高い志を抱かせ希望実現に導くための取組充実を図る。 ・アクティブラーニングを始めとする授業改善に取り組むとともに、令和5年度入学生からの1人1台タブレット導入実現に向け、環境整備や教員の活用能力向上を図る。</p>	<p>・学校の方針のもと、生徒の主体的学習態度の育成により学力の向上を図り、適切な進路指導により希望を実現する。</p> <p>・全教員が学校の方針のもと授業改善を図り授業力を高めるとともに、ICT活用の充実に向けて取り組む。</p>	<p>①-1 学校全体で教育方針を見直し、方向性の統一を図る。 ①-2 朝学習の計画の実施や効果的課題設定等により、自主学習習慣の充実を図り成績の向上につなげる。 ①-3 英検等各種検定試験の受検を奨励し合格に導く。 ②-1 スタディサポート等を活用しながら、個に応じた指導により進路希望の実現を図る。 ②-2 進路希望別補習を実施する。</p> <p>③-1 生徒による授業評価アンケートを実施し、結果を各教科で考察する。 ③-2 授業研究月間を2回設定し、教員相互の授業観察や研究授業、公開授業等を実施する。 ③-3 県の方針に基づきタブレット導入実現に取り組む。</p>	<p>①-1 スクールポリシーの策定状況 ①-2 授業以外の学習時間 ①-3 各検定試験の受検・合格状況 ②-1 個人面談の実施状況と3学年の進路結果 ②-2 補習の開設数と参加者数</p> <p>③-1 授業評価・学校評価アンケート結果(理解度・興味関心) ③-2 授業研究月間、研究授業、公開授業等の実施状況 ③-3 タブレット導入に関する整備方式検討、業者選定、新入生に向けた周知等の状況</p>	<p>・適切な進路指導を行い、志を持つ生徒の希望実現につなげた。さらに学力向上の取組について継続・改善が必要である。 ①-1 スクールポリシーを策定し、公表、共有した。 ①-2 年間出校日数161日に対して156日の朝学習を実施。実施率96.9%(87.7)。家庭学習時間は平日1時間から4時間が30.4%(27.4)、休日2時間以上25.1%(23.2)。 ①-3 各検定試験合格者数は英検15名(19)、漢検 17名(19)、情処検22名(39)。 ②-1 各担任が二者面談、三者面談を実施。3学年の進路状況は4大 141名(123)、短大 16名(15)、専門 106名(116)、就職 18名(23)、未定 27名(33)。 ②-2 進学講座は3学年 9講座(20) 42人(102)、2学年 5講座(8) 10人(64)、1学年 6講座(11) 9人(36)</p> <p>・わかりやすい授業を実施できた。新入生からのタブレット活用が次の検討項目である。 ③-1 授業がだいたい理解できていると肯定的に回答した生徒は全体の84.2%(81.6)であった。 ③-2 6月と11月に教職員相互授業研究月間を設けた。この間に校内研究授業を国語、地歴公民、数学、理科、外国語、芸術で各1回、計6回(4回)実施した。 ③-3 保護者負担によるタブレット導入について、本校含む8校合同で選定した結果、クロームブック導入を決定し、学校説明会等で新入生に向け周知を図った。</p>	B	<p>○常に授業改善を心がけ、学習に関する生徒の興味関心を高め、主体的な学習態度の育成につなげる。効果的な指導の徹底により生徒の進路希望を実現へ導く。</p> <p>☆授業改善に向けた継続的取組 →校内の相互授業観察の励行と外部研修会等への積極的参加 →授業でのタブレット活用 →観別評価を踏まえた適切な評価研究</p> <p>☆主体的学習態度育成への継続した取組 →朝学習の充実、検定試験の奨励 →自学自習におけるタブレットの効果的活用</p> <p>☆進路意識早期育成、能力伸長、進路実現 →計画的進路指導の実施と個別面談による生徒理解 →充実した進路補習、面接指導、小論文指導等の実施 →模擬試験の有効活用</p>	<p>・主体的学習態度の育成に関し、朝学習は良い取組だと思うので、継続してほしい。 ・生徒アンケートでは、家庭学習しているという回答と、していないという回答が同じ程度で、二極分化が読み取れます。学年ごとの数かわれば傾向を分析できると思います。 ・家庭学習時間の増加は良い傾向だと思えます。今後は家庭学習の習慣化に向けたタブレット端末活用も考えられます。教員側にもタブレット活用に必要なスキルが求められるのではないのでしょうか。 ・大学進学者が増えています。共通テストを受ける生徒も一定数おり、引き続き受験者数を増やせるような指導が望まれます。 ・学習という概念の幅を広げることが、主体的な学習姿勢につながるのではないのでしょうか。例えば弓道では、どの程度の力でどの方向に射ればどこに飛ぶかなどを考えることが、自然と数学や理科の学習につながるはずです。授業も大切ですが、それ以外の学校生活でも学習していることがあるという発想が重要だと思います。</p>
2	<p>【現状】 ・全教職員の共通理解の下、一丸となった生徒指導が行われ、学校の秩序が確立されている。 ・真面目で礼儀正しく素直な生徒が多く、中学校や地域からの評価も高い。 ・部活動の加入率が90%を超え、生徒の学校生活の充実をもたらしている。</p> <p>【課題】 以下の課題に取り組む必要がある。 ・自転車通学等での交通事故が起きないよう指導の充実を図る。 ・心の悩みを抱える生徒に対する教育相談体制の充実や人間関係形成能力の育成を図る。 ・生徒会活動、部活動、学校行事に主体的に取り組ませる工夫を検討する。</p>	<p>・交通事故防止の意識を高めるとともに、メンタルヘルスリテラシー向上を図り、安全・安心で秩序ある教育環境を維持する。</p> <p>・部活動、生徒会活動、学校行事を活性化させ、豊かな人間性を養う。</p>	<p>①-1 効果的な交通安全教室、全職員による立哨指導や巡回指導を行う。 ①-2 外部講師による講演実施も含め、生徒や保護者を啓発する。 ②-1 生徒の実態把握に関する調査を各学期に実施し、遅滞なく生徒の課題に対する指導・支援を行う。 ②-2 メンタルヘルス研究推進校としての取組を学校全体で推進する。</p> <p>③-1 部活動活性化により、自己肯定感を高め達成感を与える。 ③-2 生徒会活動や委員会活動活性化により生徒の自主性を育む。 ③-3 参加者の満足度が高い学校行事を実現する。</p>	<p>①-1 交通事故発生件数及び遅刻状況と皆勤者数 ①-2 特別指導の発生件数と指導対象人数の推移 ②-1 いじめ実態調査結果、学校評価アンケート結果(学校生活への意識) ②-2 実施計画に基づく取組状況</p> <p>③-1 部活動参加率と活動実績 ③-2 生徒会や各委員会の活動状況 ③-3 各学校行事の実施状況及び学校評価アンケート結果(特別活動)</p>	<p>・効果的な交通安全教室とメンタルヘルス関連の取組を実施できた。さらに継続が必要である。 ①-1 交通事故の発生件数は7件(16)。2学期の1日当たりの平均遅刻者数は7.9人(8.8)。1、2学期の各皆勤者数は1年211、166(259、158)、2年173、138(196、136)、3年195、121(196、117)であった。 ①-2 特別指導の件数は3件5名(4件4名)であった。 ②-1 いじめ実態調査結果は0件(0)であった。生徒同士の人間関係が良好と回答した生徒は96.1%(91.9)、本校に入学して良かったと思う生徒は89.0%(83.3)であった。 ②-2 メンタルヘルスリテラシー向上に関して、入学式後に保護者説明、学期ごとに調査、担任と養護教諭による1年生対象の授業を各クラス計8回実施した。</p> <p>・3年ぶりの文化祭開催を始め、より充実した学校行事を実施できた。部活動の活躍も目立った。 ③-1 部活動加入率は92.7%(95.1)。ダンス部が全国大会、弓道部が関東大会へ出場した。 ③-2 生徒会が3年ぶりの文化祭を運営し、マスコミにも取り上げられた。各委員会においても生徒による活発な活動が見られた。 ③-3 学校評価アンケートで部活動が盛んであると答えた生徒が87.3%(80.7)、学校行事が盛んであると答えた生徒が84.1%(66.7)。</p>	A	<p>○規律ある環境のもと、あらゆる教育活動の場面で、生徒の生きる力を育てる。</p> <p>☆規律ある安全安心な学校生活の維持 →全教職員による生徒指導の実施 →外部人材も活用した交通安全・薬物乱用防止教育等の実施</p> <p>☆部活動、学校行事の充実 →部活動加入率の維持と活性化 →学校行事の活性化 →各委員会の活動充実</p> <p>☆メンタルヘルス研究推進校としての継続した取組 →教育相談体制のさらなる充実 →県教委や外部機関との連携 →授業、生徒アンケート、保護者啓発等の計画的実施</p>	<p>・保護者が行事に参加できるようになりとてもよかった。3年生が最初で最後の文化祭で活躍できる姿を近くで見ることができました。 ・文化祭が新聞に取り上げられたことは、とてもよい宣伝になるし、子供たちのモチベーションにもつながります。生徒会の生徒たちも頑張って企画したいと思います。リアルな体験を積み重ねていくことが子供たちの成長にとって大切だと思います。 ・メンタルヘルス研究推進校としての取組はとても評価できます。県の指定が終わっても、積み上げてきたものが続くようにしてほしいと思います。 ・スクエアドストレートによる交通安全教室は大変良い取組だと思います。毎年できなくとも、3年に1度は実施できると良いと思います。</p>
3	<p>【現状】 ・保護者連絡の機会は設定されており的確な情報提供の基盤はできている。 ・HPには一定のアクセスがある。 ・中高連携の成果は入試倍率に表れている。コロナ前は地域との交流も活発で、関係者から高い評価を得ている。</p> <p>【課題】 以下の課題に取り組む必要がある。 ・保護者との連携体制充実を進める。 ・最新の情報を速やかに提供するとともに、本校の魅力や効果的に発信するなど、HPの充実を図る。 ・全職員による中高連携や生徒募集活動、地域との交流再開を図る。</p>	<p>・迅速な情報発信と丁寧な対応により、保護者からの信頼を高める。</p> <p>・中高連携や地域との交流により、本校への理解を深める。</p>	<p>①-1 メール配信システム加入者及び情報発信回数を増やす。 ①-2 学年保護者会を時季に応じて開催する。 ②-1 各担当によるHPの更新回数を増やし内容の充実を図る。</p> <p>③-1 生徒募集担当で企画し、全職員で生徒募集活動にあたる。 ③-2 中学校からの依頼や中学生等からの問合せへの対応を充実する。 ③-3 各部活動や学年等による地域との連携・交流再開を図る。</p>	<p>①-1 メール配信システムの運用状況 ①-2 学年保護者会の開催状況(参加者数)及び学校評価アンケート結果(情報発信) ②-1 HPの更新回数</p> <p>③-1 中高連携行事実施状況及び学校説明会等への参加者数 ③-2 中学三年生の進学希望状況調査結果 ③-3 社会福祉施設や公民館との交流の回数と参加者数</p>	<p>・本校に入学してよかったと思う保護者の割合は92.9%と高いものの、情報発信等も含め、さらに信頼を高めることが重要である。 ①-1 メール配信システムの登録者数は1,052人(1,482)で、15件の情報を発信した。 ①-2 保護者会は1学年は未実施、2学年128名、3学年171名参加。学校の情報が良く公開されていると答えた保護者の割合は68.4%(66.6)。 ②-3 HP更新は243回行った。今年度のアクセス数は284,726(229,088)であった。</p> <p>・地域との交流が再開し、コロナ禍前に戻つつある。継続した取組が大切である。 ③-1 広報生徒募集委員会が中心となり、学校公開・学校説明会を全校的な協力的体制で実施した。学校説明会参加者数は第1回226人(245)、第2回171人(248)であった。 ③-2 進学希望状況調査での倍率は10月1.41倍(1.35)、12月1.26倍(1.25)であった。 ③-3 光生園の秋祭りに吹奏楽部、JRC部、家庭科部が参加し、11月には1年生8クラス全てで園を訪問し福祉体験学習を行った。公民館とも次年度交流再開予定である。</p>	B	<p>○保護者、地域、中学生の視点を踏まえ、さらに信頼を高める</p> <p>☆家庭との情報連携や地域への情報発信の充実 →HPの活用と更新頻度の向上 →メール配信システムの効果的な活用 →欠席連絡等の電子化検討</p> <p>☆中高連携の一層の充実 →広報活動の活性化 →全教職員による情報発信 →近隣中学校との連携強化</p> <p>☆地域との交流事業の充実 →交流活動の本格的再開 →交流事業の内容充実</p>	<p>・ホームページ243回更新はすばらしいと思います。中学校の生徒は文化祭の様子などに大変興味を持っており、学校行事の情報をより詳しく公開してほしいと思います。 ・保護者アンケートで「学校の情報がよく公開されている」との回答は7割弱です。普段から見られる機会が持てるような情報発信をすれば増えると思います。よく更新されているのが部活動だと思いますが、偏りがあるようにも感じられます。 ・社会福祉施設では体験授業や秋祭りなどの連携行事が行えるようになり、とても良かった。来年度はさらにかつてのような連携ができることを期待します。 ・コロナ対応が徐々に緩和され、様々な場面で交流できるようになったことはとても良いと思います。</p>